

Lieber Freund

NPO鳴門「第九」を歌う会だより

“友よ”

リーバー フロイント

vol.8

発行：NPO鳴門「第九」を歌う会事務局

TEL 088-686-1296 FAX 088-686-7690(浅野)

http://www.tv-naruto.ne.jp/daiku/ E-mail:naruto_daiku@yahoo.co.jp

2008年7月27日発行



アジア初演90年のメモリアル・イヤーに
憧れの西本智実さんのタクトで2回公演。
感動もひとしおでした

端正でクリア、メロハリのきいた
音楽作りに、合唱団もオケも一瞬
にして引き込まれました

ごあいさつ

今年は「第九」がアジアで初めて演奏されてから90年という大きな節目の年です。この記念すべき年に、今、日本内外において、人気実力共に抜群の西本智実さんを指揮者としてお迎えし、初めての試みである2日間公演を実施することが出来ました(6月2日の演奏会は徳島県主催による)。

登壇された合唱団員は2日間で延べ940人、会場をびっしりと埋めてご鑑賞くださったお客様は3千人を超え、感動の演奏会を終えることができました。ご出演の皆様、そして裏方として例年以上にご苦労された役員、ボランティアの皆様、本当にありがとうございました。

ご遠路はるばる鳴門までお越しくださり、素晴らしい舞台を演出してくださった「全日本第九を歌う会」の皆様のあたたかいお力添えにも、改めて心より御礼申し上げます。

今年3月には、全日本第九を歌う会のご協力により、「第3回里帰り公演」が、ドイツ兵縁の青島市で実現しました。また昨年の国民文化祭では、徳島文化4つの柱のひとつとして「第九フェスティバル」が開催され、「鳴門の第九」はいよいよ全国からも県民からも熱い声援をいただいています。

今後ますます鳴門の宝、徳島の誇りとして鳴門の第九が発展できますよう、皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

(NPO法人 鳴門「第九」を歌う会理事長 大塚 道子)



→プログラムは、
1918年初演の際の
印刷物をモチーフに。
出演者にとってもいい
記念品になりました

広報、準備、設営、裏方…と、あらゆる部署でスタッフが力を尽くしました。それもこれも、半年かけて練習した成果をステージに結集させるため。そして全国から集まってくださる第九仲間に気持ちよく歌っていただくため。目の回るような忙しさでしたが、充実感と感動いっぱいの3日間でした。

さあ、3日間のあんな場面、こんな場面を振り返ってみましょう。

(撮影／広報委員 濱田佳代子)

華 ●一挙手一投足が「音」を表現していました…。合唱団の特に男声陣から熱い視線



「何度も歌ってらっしゃるのはわかります。でも音にできなきゃ意味がないですよ」
—— 厳しい指導に合唱団の目の色が変わる ——

受付 ●県外の第九仲間が続々と。鳴門の第九のいわば「玄関」ですから対応は笑顔で的確に



写真展 ●3月の青島への里帰り公演の模様をパネルで紹介。ロビーではおなじみの物産展も



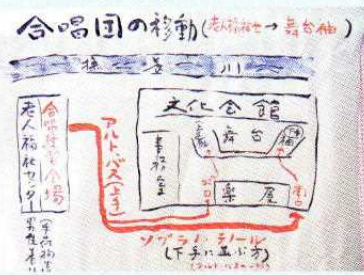
ワークショップ ●3会場に分かれて熱心な討議を行いました。意見・情報交換のいい機会です



第九グッズ ●ネクタイ、第九ワイン…そろそろ新しいグッズが欲しいですね。リクエストありますか？



味わい ●事務局長の浅野司郎さんの達筆ぶりは衆知の事実。しかし、これは本邦初公開では？ なかなか味わい深いです



第27回ベートーヴェン「第九」交響曲演奏会 2008年6月1日(日)

指揮：西本 智実 管弦楽：徳島交響楽団 with 東京交響楽団
独唱：藤谷佳奈枝(S) 小川 明子(A) 頃安 利秀(T) 河野 克典(Br)



アジア初演「第九」90周年記念コンサート 2008年6月2日(月)

指揮：西本 智実 管弦楽：東京交響楽団 独唱：大倉由紀枝(S) 永井 和子(A) 成田 勝美(T) 福島 明也(Br)

～鳴門ならではの楽しみ～ 交流会

鳴門の第九の楽しみのひとつに、演奏会後、指揮者やソリストの方々をお迎えしての交流会があります。6月1日、演奏後のステージに西本さんらが現れると、興奮さめやらぬ合唱団から割れんばかりの拍手が…。

西本さんは「このような記念演奏会で皆さんと演奏できることは嬉しいこと。演奏会を前にすると、この音楽を通して、聴衆の皆さんに何が伝えられるだろう、私ができることはなんだろうという思いになります。いろんな思いを抱えながら、気持ちを奮い起こしてステージに出て行く



自分があります。今回、たいへん短い練習時間ではありましたが、その中でも向上していくのがわかり嬉しかったです」と語られました。言葉をていねいに選びながら話す様子が印象的でした。

ソリストの皆さんにもコメントを頂いた後はミニコンサート。あたたかく美しい歌声に心癒されるひとときでした。



▲2ショットに「待ってました」の声。ご主人の山田啓明さんのピアノで「からたちの花」を歌ってくださった小川明子さん

▼フレー二直伝という「O mio babbino」を聴かせてくれた藤谷佳奈枝さん。伸びのある澄んだ声に魅了されました



▲「Freude!」堂々たるすばらしい歌声で男声陣をリードしてくださった河野克典さん



▲我らが頃安利秀先生。ご指導ありがとうございました。合唱の出来はいかがでしたか…?

鳴門の第九に里帰りして

新潟県在住 豊田 純子(県外会員)

ふるさと徳島を離れて一年、里帰りを兼ねての演奏会参加を心待ちにしていました。少し緊張して受付にいくと、スタッフの皆さんの笑顔と懐かしい阿波弁。そして、関係書類の入った封筒には手書きで「お帰りなさい!」の文字が。「ああ、ふるさとに帰ってきたんだなあ」と実感、心にしみました。練習会場で後ろの席に座っている県外参加の方が「私は全国いろんな所で第九を歌っているけれど、鳴門の第九が一番よ、運営が素晴らしいのよ!」とお話ししていました。思わず後ろを向いて「そうでしょう、そうでしょう!」と同調したくなりました。県内で練習を重ねて本番を迎えるのと違って、県外から参加すると、わからないことや不安が多くなります。ですが鳴門の第九では、わかりやすい表示や工夫はもちろんのこと、何よりスタッフの方々が明るく元気で、ていねいに対応してくださるので安心です。だからこそ、出演者は歌うことに集中でき、県外参加者を増やしながらかも今まで素晴らしい演奏会を続けてこられたのだと思います。

また、人々のコミュニケーション力が低下していると言われる今の世の中ですが、「鳴門の第九」では初対面の出演者やスタッフが互いに協力して、演奏会を成功させようとしている姿があちこちで見られます。舞台裏で並びながら励まし合う、せまい壇上で互いに席をゆずりあう、時には私語をしている人にやんわり注意する…これらのことも、スタッフの皆さんが一生懸命にお世話してくださるから、出演者も前向きに頑張ろうという気持ちになれるのだと思います。こうして人と人の間にできる小さな絆が、やがて「すべての人々は兄弟となる」力へと発展していけばベートーヴェンも本望だ!なんて思いながら充実した2日間を過ごしました。

また来年「鳴門の第九」に帰ってきます。本当にありがとうございました。

第九演奏会に参加して

中学生のための合唱教室

活動の記録



▲左端、2列目が枝川くん、後列が清川くん

♪ 鳴門市瀬戸中学校3年 清川 郁弥くん

僕が「第九」の練習に参加しはじめたのは一昨年のことです。きっかけは、部活動（剣道部）の先輩全員が中学生の合唱教室に参加することになったので、一緒に行くことにしました。その時は男子一人だけで少しつらかったのですが、先生方が熱心に教えて下さるので、休まず続けました。おかげで昨年の国民文化祭で初めてステージに立つことができ、今年は大ファンの西本智実さんの指揮で歌うことができ、とても感激しました。本当に参加できて良かったです。高校生になってもぜひ続けて参加したいと思います。

♪ 鳴門市瀬戸中学校3年 枝川 翔太くん

友人の清川君に誘われて、今年初めて中学生の合唱教室に参加しました。練習の時、何をしたいかわからない僕に、豊成先生や頃安先生が発声練習の仕方やドイツ語の発音などをわかりやすく教えて下さり、本当に感謝しています。そして本番では、西本智実さんを指揮者に総勢千人を超える合唱団と共に歌いこなすことができました。このときの感動は忘れられません。「第九演奏会」に参加させていただき、本当にありがとうございました。

コンサートを開きます♪

Chorus9

第九が終わったら、さあ！今度はコーラス9です。今年は恒例のドイチェス・フェストや芸能祭のほかに、以下の2つのコンサートを予定しています。

.....♪.....

●ドイツ・ウルム市のアンサンブル・グループとのジョイント・コンサート 10/16(木) 於：鳴門市ドイツ館

●「コーラス9」第4回演奏会

12/23(火) 於：鳴門市ドイツ館

.....♪.....

第4回演奏会では、小川明子先生、頃安利秀先生、山田啓明先生らに出演いただき、サン・サーンスの『クリスマス・オラトリオ』全曲、そして「第九」の第4楽章ほかを演奏します。詳細未定ですが、クリスマス気分いっぱいのすてきなコンサートになりそうです。ぜひ足をお運びください。問合せは事務局(浅野) ☎088-686-1296まで

◆平成19年度総会 & 第1回研修会

2007. 7/29 於：鳴門市ドイツ館 77名参加
総会の後、亀井前市長さんを囲み第九を語る会を開催。第1回研修会として、小島信子先生のソプラノ・コンサートを楽しみました。ピアノは大井美弥子先生。

◆鳴門市選抜阿波踊り大会にコーラス9が出演

2007. 8/9 於：鳴門市文化会館
太閤連とのジョイントで「第九で阿波踊り」。

◆ドイチェス・フェスト in 鳴門にコーラス9が出演

2007. 10/7 於：鳴門市ドイツ館

◆おどる国文祭「第九フェスティバル」

2007. 10/28 於：鳴門市文化会館
渡邊康雄さんの指揮で、458名が「フィンランディア」「第九」を熱唱。ドイツから合唱団20名も参加。

◆おどる国文祭「ドイツさん」朗読に出演

2007. 11/3 於：鳴門市ドイツ館
「ドイツさん」が題材の「友愛の花」「第九」を合唱。

◆「かがわ第九」に10名が参加

2007. 11/4 於：香川県民ホール

◆鳴門市芸能祭

2007. 12/9 於：鳴門市文化会館
「草原情歌」「ノルウェーのウェディングマーチ」などをア・カペラで披露。指揮：大井美弥子

◆県民による第九鳥取公演2007に14名が参加

2007. 12/23 於：鳥取県民文化会館「梨花ホール」

◆会津「第九」演奏会2007に11名が参加

2007. 12/23 於：会津風雅堂

◆とくしまカウントダウン2008 in 藍場浜に出演

2007. 12/31 於：藍場浜公園

◆コーラス9 2008 Februaryコンサート

2008. 2/10 於：老人福祉センター
「モルダウの流れ」「Vem kan segla」など8曲を披露。指揮：大井美弥子、ピアノ：向井真紀子

◆三好市の「四国第九コンサート」に男声13名が出演

2008. 3/16 於：三好市総合体育館

◆第3回第九里帰り公演

2008. 3/30 於：中国・青島市人民会堂
指揮：山田啓明、管弦楽：青島交響楽団、合唱：第九を歌う会連合会60名・青島大学音楽部学生35名・リユーネブルグ市民3名による第九が実現。ソリストとして日本からは頃安利秀さん、戸邊祐子さんが出演。

こしらへた報部

感動の2日間公演を、多くの写真でお伝えしようと、今回はデザインを一新しました。公演の熱い空気が伝われば幸いです。写真や原稿を提供くださった皆さん、ご協力ありがとうございました。ご意見・感想などお待ちしております。(広報委員一同)